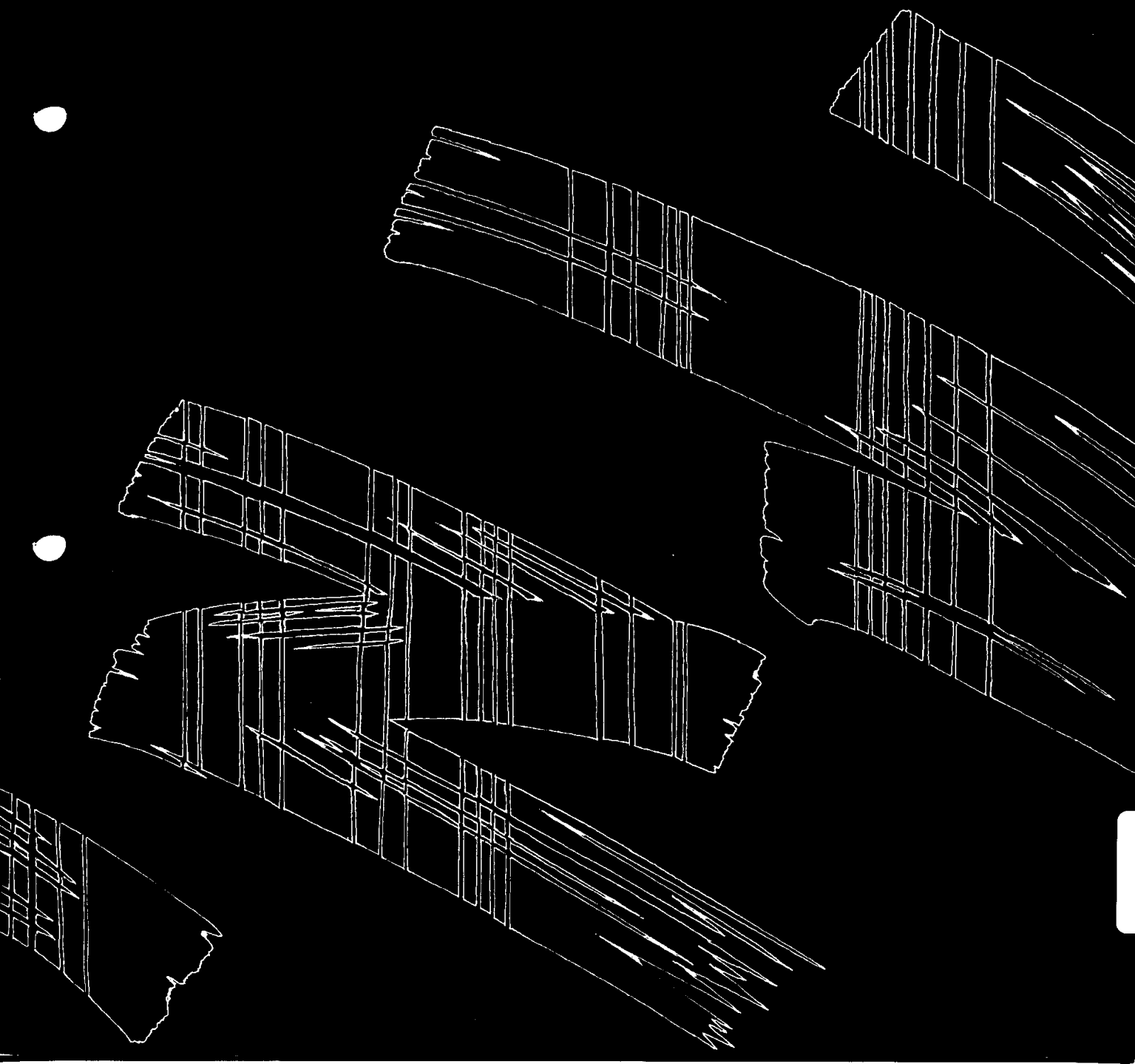
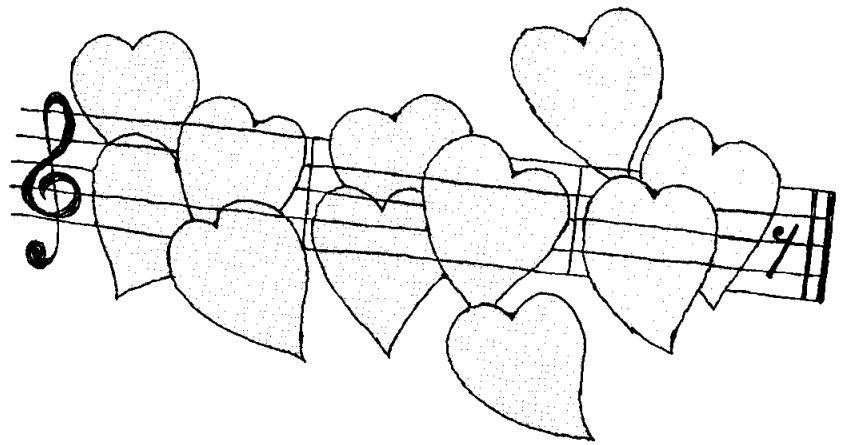


YAMAHA COMBO ENSEMBLE

CE20

取扱説明書





このたびはヤマハ、コンボアンサンブル CE20 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

CE20 は軽量、コンパクトなボディながら、音源としてFM方式を採用、美しく、ナチュラルなサウンドを実現、ステージでのリードキーボードとしてだけでなく、気軽にホームコンサートも楽しめる、オールマイティなキーボードです。

コンボアンサンブル CE20 を正しく、また末永くご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

目次	ページ
アテンション・ブリーズ	1
セット・アップ	2
コネクション	4
レッツ・プレイ	6
サウンドバリエーション	7
フィンガー・フィーリング	8
バイブレーション	10
スペック	11

アテンション・プリーズ

いつまでも末永くご愛用いただくために、つぎのことがらにご注意ください。



設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所



無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。外出などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V の電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V 以外(例えば 200V)の電源には絶対に接続しないでください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



接続について

4 ページの「コネクション」をよく読み、正しく接続をしてください。

また、スピーカー破損防止のため機器接続の際は、それぞれの電源スイッチを OFF にしてからおこなってください。



外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。

お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。



他の電気機器への影響について

本機はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなど他の電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因となることがあります。ラジオやテレビなどの電気機器から充分離してご使用ください。



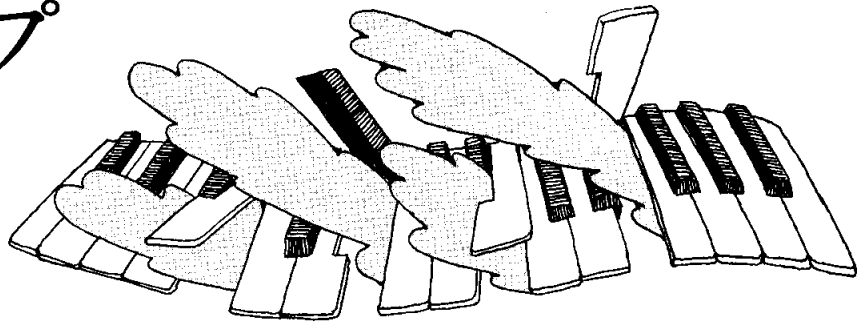
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

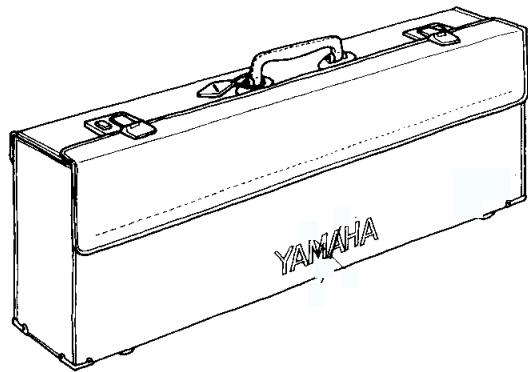
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドホンを使用するののも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。



セット・アップ



コンポアンサンプル CE20 には、持ち運びや保存のときに便利なキャリング・ケースと、スタンドをそれぞれ別売り品として用意しています。



●別売りキャリング・ケース



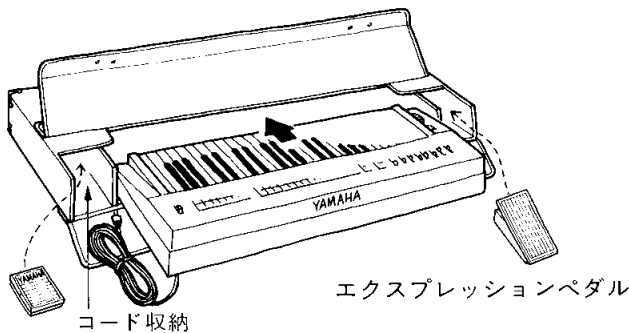
別売りスタンド
キャリング・バッグ付

これらをご使用になる時は、次の手順でセット・アップしてください。

■キャリングケースへの出し入れ

キャリングケースには鍵盤側を奥にして図のように収納されています。本体を取り出します。

- コンポアンサンプル CE20 をキャリングケースに収納するときは、図に示す方向に入れてください。



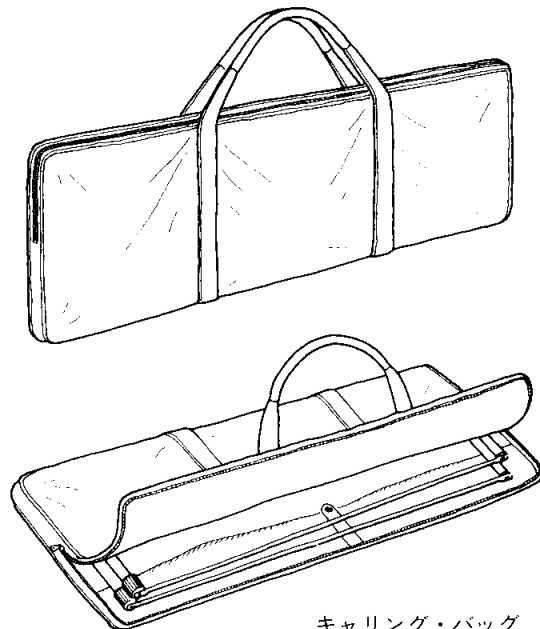
サスティンペダル

エクスプレッションペダル

- 鍵盤側を奥にして収納してください

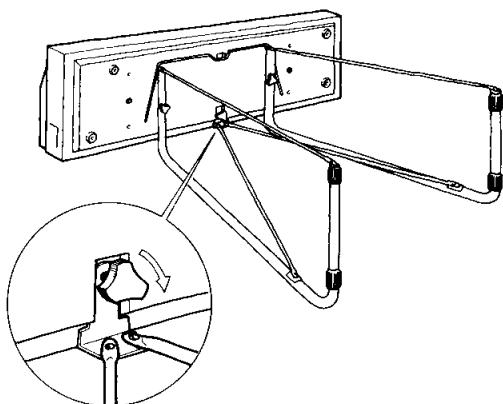
■スタンドの取り付け

スタンドはスタンドケースに図のように収納されています。スタンドをケースから取り出します。



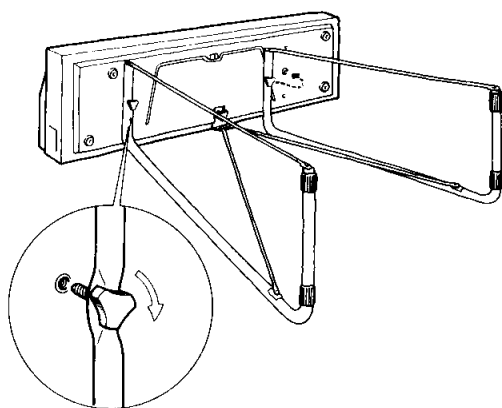
キャリング・バッグ

1. 電源コード側を下にして、本体を図のように横にねかします。



2. はじめに、スタンドをやや開いた状態にして、ステータ部の取り付けネジを本体中央のスタンド取付穴に締めつけます。このとき、ネジは完全に締めつけなくて、少しゆるみをもたせておきます。

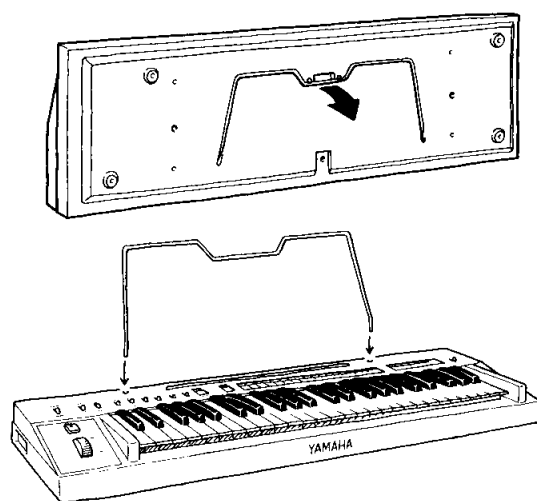
3. つぎに、スタンド取り付け部の2つの突起が、本体のガイド穴にピッタリ合うようにスタンドを広げ、スタンド取り付けネジを締めつけます。



4. 中央および左右の3個所のスタンド取り付けネジを取り付けたあと、ネジを完全に締めつけます。

■ 譜面立ての取り付け

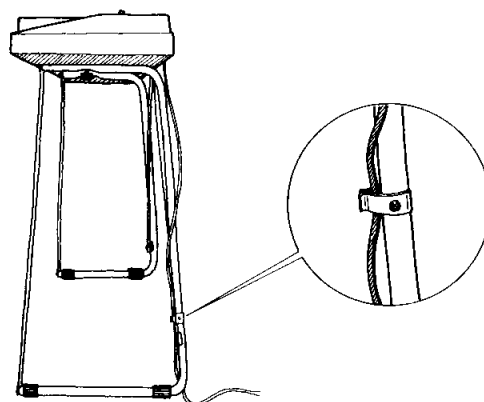
譜面立て金具は、本体裏面に図のように収められています。金具を図の矢印の方向に軽く押しと金具を取り外すことができます。



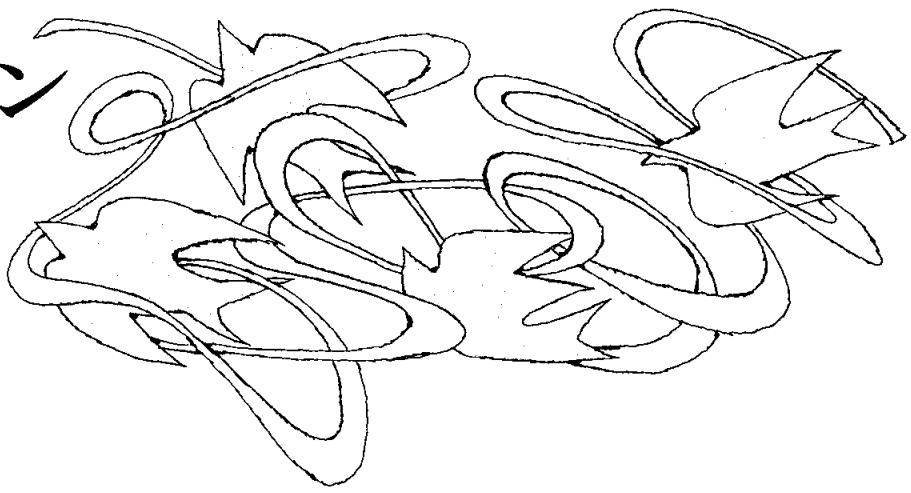
譜面立て金具は、本体表面の2個所の穴に図のように差し込みます。

■ コード止め金具の使用法

電源コード、フットペダルなどのコード類は、スタンドの図に示すコードフック金具にはさんでおきます。



コネクション



コンポアンサンプルCE20にはパワーアンプは内蔵されていません。従って、スピーカーを使用するときはパワーアンプ、スピーカーを接続することが必要です。

●ヘッドホンだけを使用するときは、パワーアンプを接続する必要はありません。

■接続できるアンプ

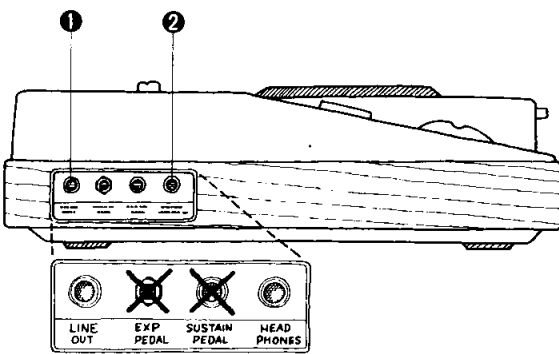
CE20に接続するアンプとしてはキーボードアンプKS50、KS100などが最適ですが、その他接続できるアンプと、端子名を示します。なお、端子の呼称はアンプ等のメーカー、モデルによって異なることがありますので、ご不明の場合は巻末サービス網にお問合せください。

- キーボードアンプ(KS-50等)……INPUTまたはLINE IN
- ステレオ(プリ)アンプ……………AUX端子
- ミキサー(PM210等)……………LINE IN端子
- ラジオカセットデッキ……………AUXまたはLINE IN端子
- エレクトーン……………AUX IN端子

ご注意 アンプ等のMIC端子、PHONO端子には接続できません。

■接続端子

接続端子は、本体の左横部にあります。



↑ アンプ等 ↑ ヘッドホン

①LINE OUTラインアウト端子

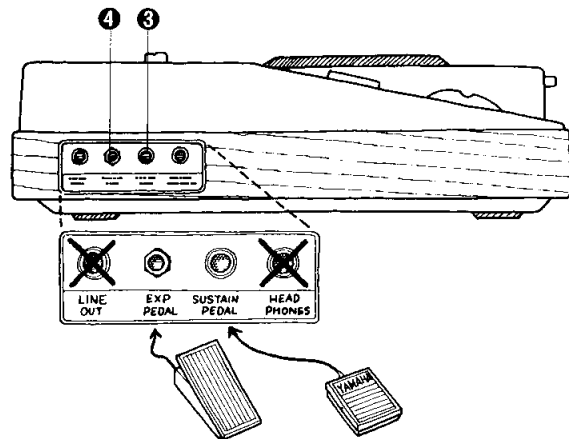
アンプ等は左側のLINE OUT(ライン・アウト)端子に接続します。

②HEAD PHONESヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンはステレオ、モノラルのどちらのタイプも接続できますが、出力はモノラルとなります。

■コントロールペダル接続端子

付属のエクスペッションペダル、サスティンペダルを接続して、音量、サスティンのフットコントロールができます。



サスティンペダル、エクスペッションペダルを接続

③SUSTAIN PEDALサスティンペダル

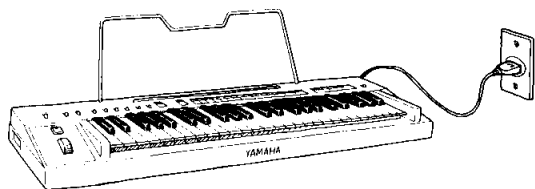
付属のサスティンペダルを接続して、離鍵後に音が余韻をもって消えるサスティン効果をつくることができます。

●モノフォニックボイスでは同時に2つ以上のキーを押すとサスティン効果がかからないことがあります。

④EXP PEDALエクスペッションペダル

付属のエクスペッションペダルを接続すると、音量をフットコントロールできます。これによりフェードイン、フェードアウトや曲の進行に伴い音量を変えるなど、演奏の表情が豊かになります。

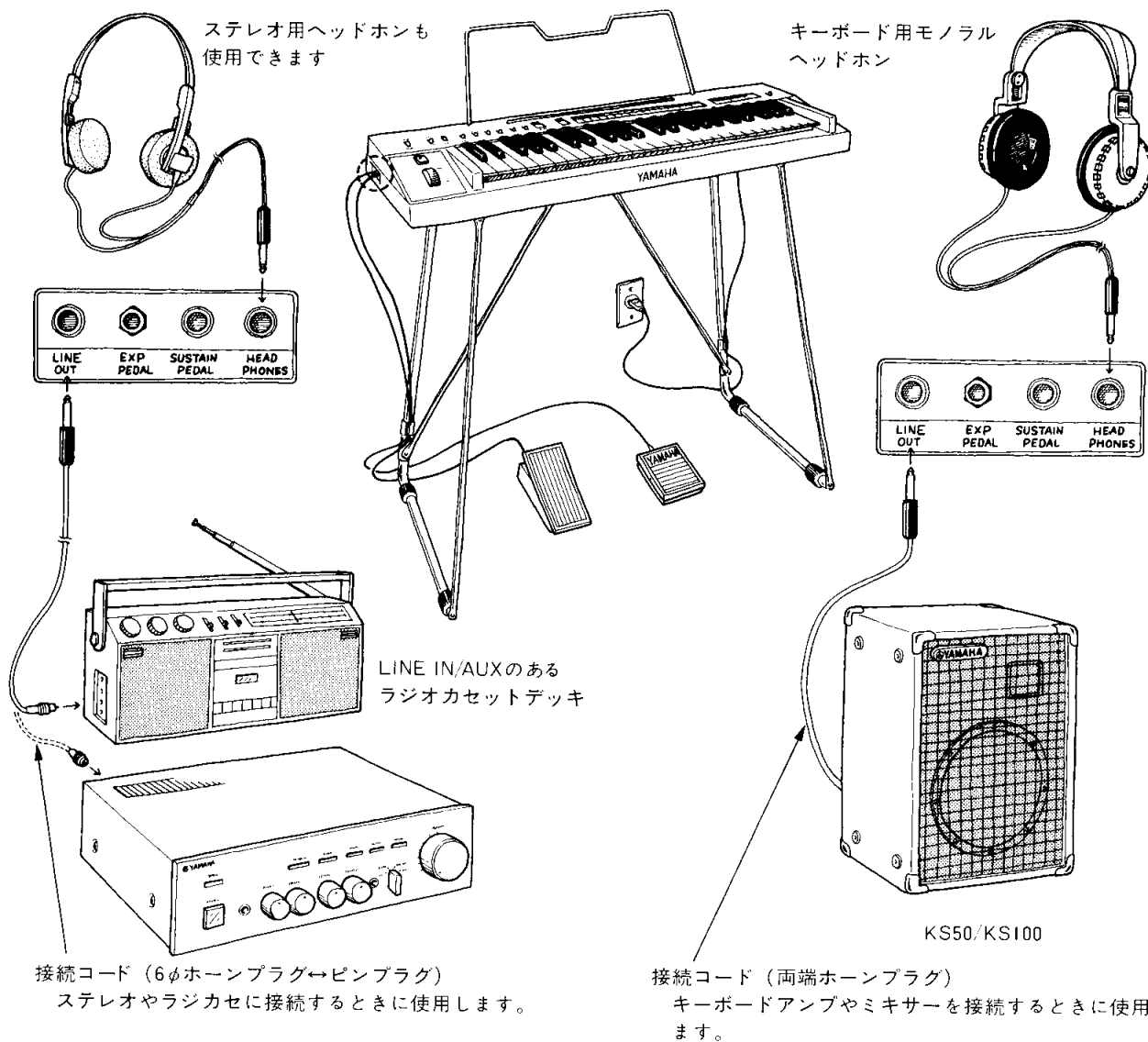
■電源の接続



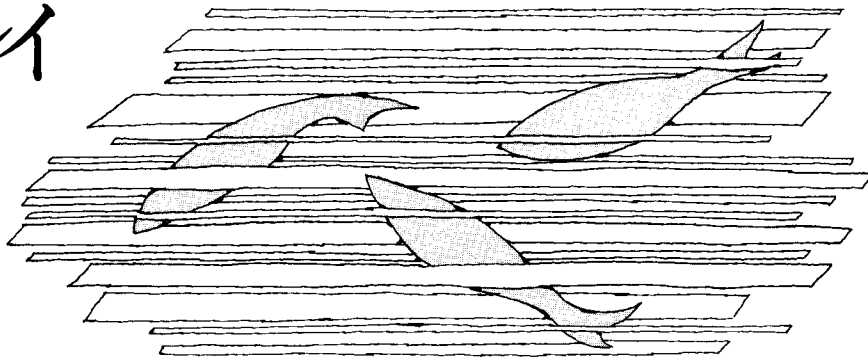
電源コード

電源コードをAC 100Vのコンセントに差し込みます。

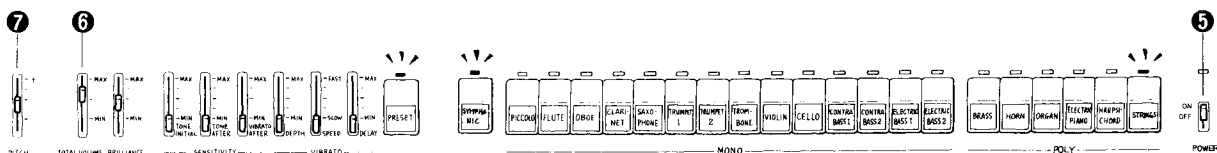
■接続例



レッツ・プレイ



接続が終了しましたら、もう一度誤りがないかどうかをチェックしてください。間違いがなかったら、電源スイッチをONにして実際に演奏してみましょう。



⑤POWER電源スイッチ

電源スイッチはパネルの最も右端にあります。電源スイッチをONにすると、図に示すように、3ヶ所のインジケーターが点灯します。

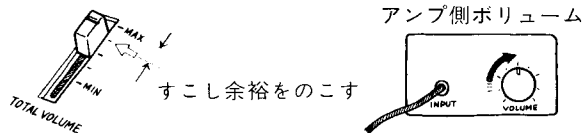
これは、ソースとして SYMPHONIC 効果のかかった STRINGSが選ばれ、ピブラート、タッチセンスもあらかじめセットされた状態になっていることを示します。

●必要以上に、ON/OFFを繰り返すと音が出ない場合があります。

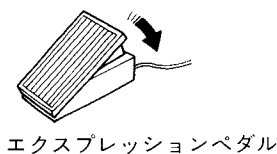
⑥TOTAL VOLUMEトータルボリューム

CE20の総合的な音量を調節するレバーです。

電源スイッチをONにした状態で、トータルボリュームを上げるともう鍵盤を弾いて演奏することができます。アンプ側のボリュームは、トータルボリュームを8割ぐらい上げたとき、ちょうど適当な音量になるようにセットします。



●エクスプレッションペダルを接続すると、ペダルによって音量をコントロールすることができます。



このとき、トータルボリュームが下がっていると、エクスプレッションペダルを踏みこんでも音量は上がりません。同様にエクスプレッションペダルが踏みこまれていないと、トータルボリュームを上げても音量は大きくなりません。

⑦PITCHピッチ

ピッチを合わせるレバーです。レバーを+方向に上げるほどピッチは高くなり、-方向に下げるとピッチは下ります。ピッチの可変幅は436~447Hzです。

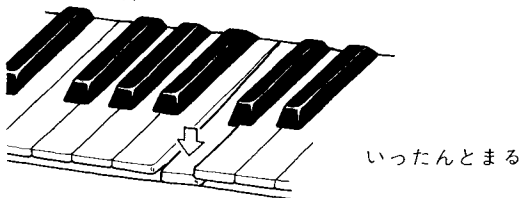
鍵盤 キーボード

コンボアンサンブル CE20 は49鍵で4オクターブをカバーします。音域は各ボイスの特性により異なります。

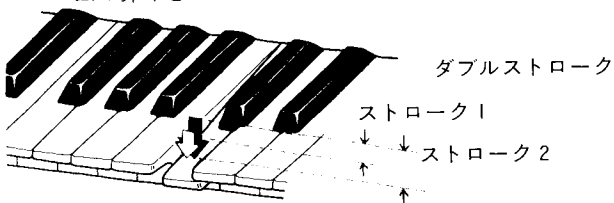
■ダブルストロークキイ

鍵盤のストロークは2段階になっており、ゆるやかに弾いた場合一たん止まり、その位置から強く押すと更にしずみます。このダブルストロークキーにより、CE 20 はタッチコントロールを実現しています。

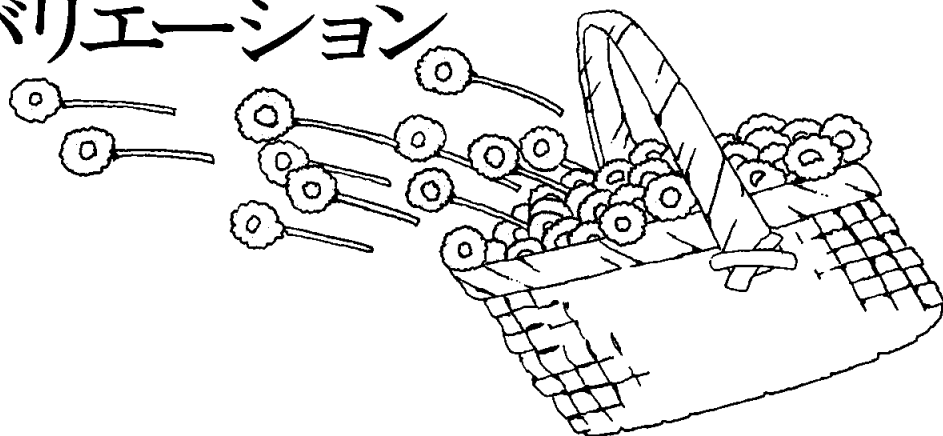
ゆるやかに弾くと



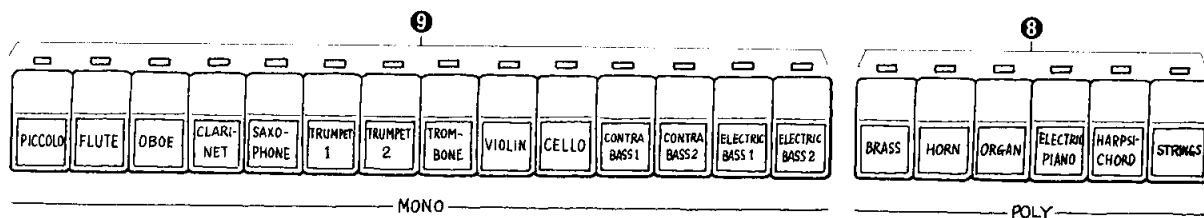
さらに強く弾くと



サウンド・バリエーション



コンポアンサンプルCE20は8音までのポリフォニック演奏のできるポリフォニックボイス6種類、ソロシンセサイザーのように高音優先で発音する14種類のモノフォニックボイスがあり、ワンタッチで選ぶことができます。いずれも美しさとリアルさを実現するために、新たなテクノロジーを採用した独自の方式によって作られた音色です。



⑧ POLYポリフォニック・ボイスセクター

ストリングス、ハープシコード、エレクトリックピアノ、オルガン、ホルンおよびブラスがあります。電源スイッチをONしたときはストリングスに初期設定されます。

- 6種類のポリフォニックボイスの内、ストリングスおよびオルガンを選ぶと、SYMPHONICのインジケータが点灯し、シンフォニック効果のかかった音色となります。

このとき、SYMPHONICボタンを押し、シンフォニック効果を解除することができます。また他の4種類にシンフォニック効果をかけることも自由にできます。

⑨ MONOモノフォニック・ボイスセクター

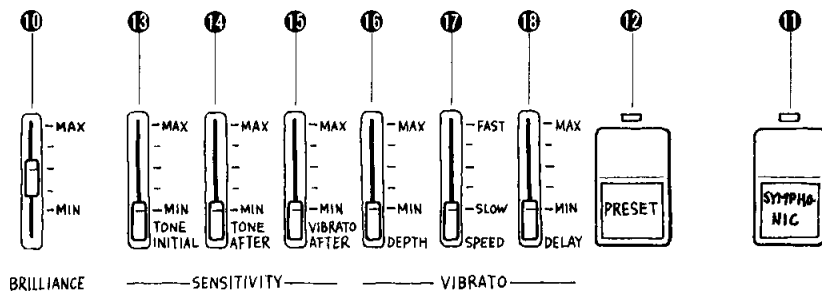
エレクトリックベース他、管楽器、弦楽器をシュミレートした音色が14種類あり、シンセサイザー・ライクな演奏を楽しむことができます。

- モノフォニックボイスは、2音以上の鍵盤を同時に押すと、最も高い音程を発音します(高音優先)。
- モノフォニックボイスにはシンフォニック効果はプリセットされていませんが、SYMPHONICボタンをONすることにより、全てのボイスに自由にシンフォニック効果をかけることができます。
- モノフォニックボイスでは同時に2つ以上のキーを押すとサステインペダルを踏んでもサステイン効果がかからないことがあります。

フィンガー・フィーリング



コンポアンサンブル CE20 には合計20のプリセットボイスを、あなたの好みや、フィーリングに応じてさまざまにアレンジすることのできる多くのエフェクターを備えています。



⑩BRILLIANCEブリリアンス

ブリリアンスは音色のトリミングを行なうエフェクターです。全てのボイスに対して働き、レバーをMAX側に上げるほど音色は明るくなり、反対にMIN側に下げると音色はソフトになります。

⑪SYMPHONIC シンフォニック

はなやかで、厚みのあるシンフォニック・アンサンブル効果をつくります。

- ポリフォニックボイスのストリングスとオルガンに対しては、音色を選ぶと自動的にシンフォニック効果がかかります。

■ビブラート & タッチコントロール

コンポアンサンブル CE20 の最もすぐれた特徴の一つであるキーボードタッチコントロールは、音色や音量またはビブラートを演奏するときのキータッチの強弱によりコントロールする機能です。このため、アコースティックピアノを演奏するときのような、また、フルートやギターなどのビブラート奏法のような演奏テクニックを思いのまま、フィーリングのままに表現することができます。

⑫PRESET プリセットスイッチ

タッチコントロールやビブラートは、20のプリセットボイスに対してあらかじめセットされています。従っ

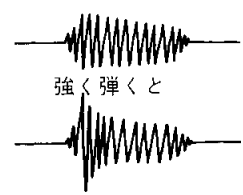
て、SENSITIVITY、VIBRATOの6つのレバーはコントロールしなくてもプリセットスイッチだけで、これらのエフェクターを使用することができます。

- 電源スイッチをONにしたとき、プリセットスイッチは自動的にONになり、ただちにエフェクターを使用することができます。
- プリセットスイッチをONにすると、SENSITIVITY、VIBRATOの6つのレバーではコントロールできません。これらのレバーでコントロールするときはプリセットスイッチをOFFにしてください。

タッチコントロール



普通に弾くと

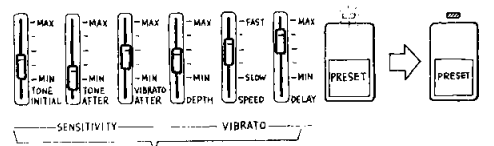


強く弾くと



TONE INITIALの効果

プリセットの働き

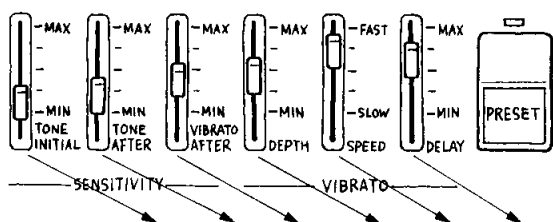


PRESETがONのとき、これらのレバーではコントロールできない

SENSITIVITYのレバーでコントロールするときは、PRESETをOFFにする

■プリセットの状態(参考値)

PRESETスイッチをONにするとSENSITIVITYとVIBRATOの6つのレバーは動かず、内部で設定された下表の状態となります。



ボイス	TONE INITIAL	TONE AFTER	VIBRATO AFTER	VIBRATO DEPTH	VIBRATO SPEED	VIBRATO DELAY
PICCOLO	9	7	0	0	0	0
FLUTE	9	7	2	3	1	0
OBOE	9	9	2	0	1	3
CLARINET	6	5	2	0	1	4
SAXOPHONE	6	9	0	1	0	0
TRUMPET 1	9	7	1	0	6	4
TRUMPET 2	9	7	1	0	6	4
TROMBONE	10	7	4	0	4	3
VIOLIN	9	9	2	4	0	0
CELLO	6	5	1	4	0	0
CONTRA BASS 1	9	5	0	1	0	0
CONTRA BASS 2	10	0	0	0	0	0
ELECTRIC BASS 1	10	0	0	0	0	0
ELECTRIC BASS 2	6	0	0	0	0	0
BRASS	4	7	0	0	0	0
HORN	9	7	0	0	0	0
ORGAN	6	0	0	0	0	0
ELECTRIC PIANO	10	9	0	0	0	0
HARPSI CHORD	4	0	0	0	0	0
STRINGS	6	7	0	0	0	0

※数値は10のときレバーが最も上った状態と同じで、0のとき最も下にあるときに相当します。

■SENSITIVITY センシティブィティ

タッチコントロールの感度(センシティブィティ)をコントロールするレバーです。これらのレバーをMAX側に上げるほど感度が上がり、弱い力でも強い効果が得られます。

⑬TONE INITIAL トーン・イニシャル

アタックの強さをコントロールします。

レバーをMAX側に上げると、鍵盤を弱く弾いたときには弱く、強く弾いたときには強いアタックがかかります。アコースティックピアノの様な効果です。

⑭TONE AFTER トーン・アフター

アタックのあと、鍵盤を押している間の音の強さをコントロールします。

レバーをMAX側に上げると、鍵盤の押す強さによって音の大きさをコントロールすることができます。

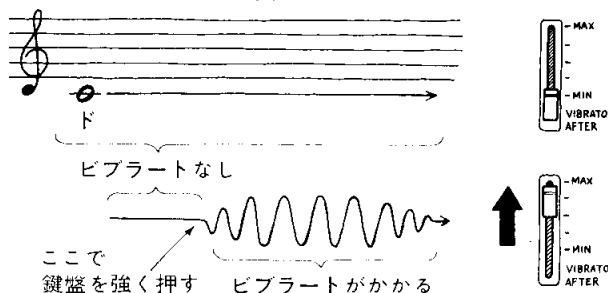
●エレクトリックピアノのように、プリセットボイスのエンベロープが減衰モードに設定されているときは、トーンアフターレバーをセッティングしても、あまり効果は現われません。

⑮VIBRATO AFTER ビブラート・アフター

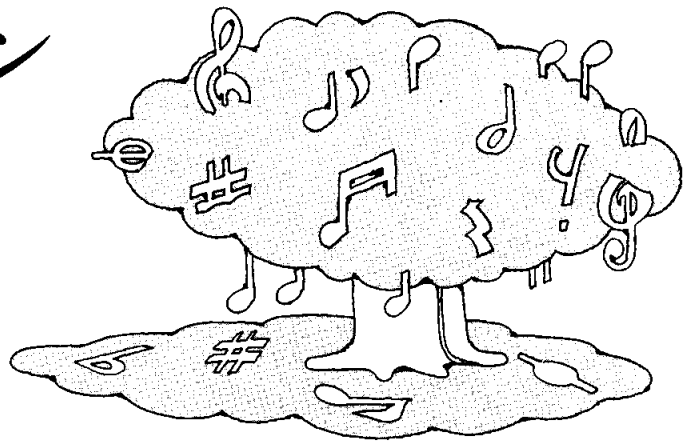
鍵盤を押す力の強弱でビブラートの強さをコントロールします。ビブラートのスピードはSPEEDレバー⑰によって決まります。

レバーをMAX側に上げ、鍵盤を強く押すと、その強さに応じたビブラートがかかります。

ビブラートアフターの効果

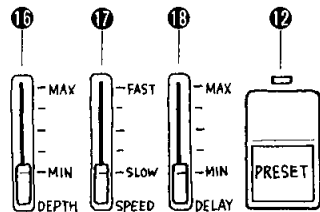


バイブレーション



■VIBRATO ビブラート

ビブラート効果は、タッチコントロールのビブラートアフターによって、指の力に応じた強さでかけることができますが、タッチコントロールとは関係なくビブラート効果をつくるのが次の3つのレバーです。



⑬DEPTH デプス

ビブラートの深さをコントロールするレバーです。レバーをMAX側に上げるほどより深いビブラートがかかります。レバーをMIN側いっぱい下げると、ビブラートはかかりません。

⑭SPEED スピード

ビブラートの速さをコントロールします。レバーをFAST側に上げるほどスピードは速くなります。スピードは約4~10Hzの間で変化します。

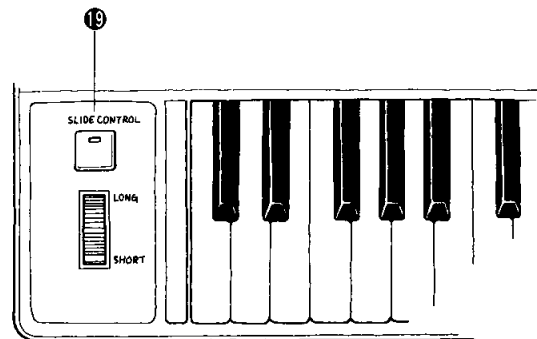
●タッチコントロールのVIBRATO AFTERのビブラートスピードもこのレバーで決まります。

⑮DELAY ディレイ

鍵盤を押し、音が出はじめてから、ビブラートのかかりはじめるまでの遅れ時間をコントロールします。この効果をディレイ・ビブラートと言い、よりリアルなビブラート効果が得られます。レバーをMAX側に上げるほどビブラートはより遅れてかかります。

■スライドコントロール

スライドコントロールはピッコロ、フルートなどのモノフォニックボイス14種類に対して働き、ポリフォニックボイスに対しては効果を与えません。



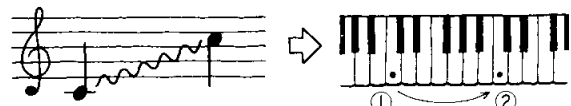
⑲SLIDE CONTROL スライドコントロール

スライドコントロールスイッチをON(インジケータ点灯)し、ホイールを上側に上げると、音程がなめらかにスライドする効果が得られます。

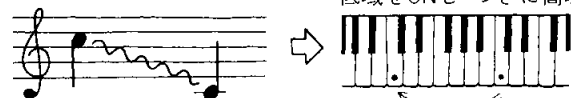
はじめに低域の鍵盤を押したまま、高域の鍵盤を押すと音程はなめらかに上昇し、高域の鍵盤を押したまま低域側の鍵盤を押し、つぎに高域側の鍵盤を離すと、音程はなめらかに下降します。

ホイールを上側に上げるほど、音程の移動はゆるやかになります。

●低域→高域の移動



●高域→低域の移動

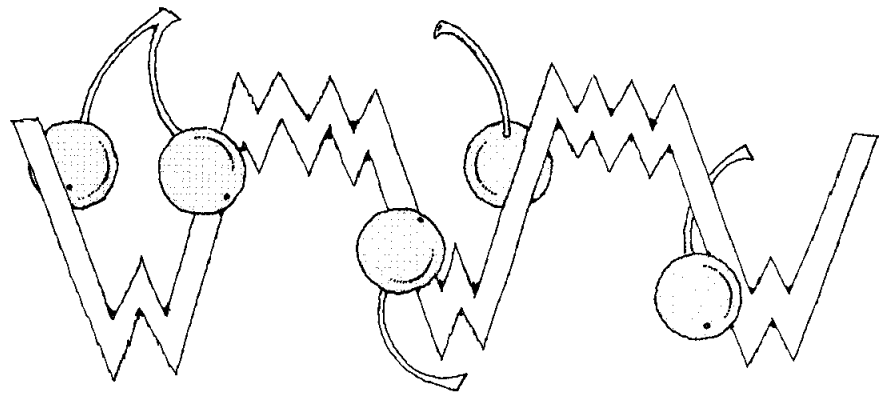


低域をON...②

高域を押したまま...①

つぎに高域をOFF...③

スペック



- 鍵盤.....49鍵, C₂~C₆
- 同時発音数.....ポリフォニック：8音（先着順）
モノフォニック：1音（高音優先）
- ボイスセクター
- モノフォニック.....ピッコロ, フルート, オーボエ, クラリネット, サキソフォン, トランペット1,
トランペット2, トロンボーン, バイオリン, チェロ, コントラバス1,
コントラバス2, エレクトリックベース1, エレクトリックベース2
- ポリフォニック.....ブラス, ホルン, オルガン, エレクトリックピアノ, ハープシコード, ストリ
ングス
- タッチコントロール.....プリセットスイッチ
センシティブティ トーンイニシャルレバー
トーンアフターレバー
ビブラートアフターレバー
ビブラート デプスレバー
スピードレバー 4~10Hz
ディレイレバー
- コントロール.....シンフォニックスイッチ
ブリリアンスレバー
ピッチコントロール 436 → 447Hz
スライドコントロール：スイッチ, ホイール
モノフォニックボイスに対して効果
- 外部出力端子.....ラインアウト：600Ω, 不平衡
ヘッドホン：8Ω, モノラル（ステレオヘッドホン使用可能）
- その他
- 電源電圧.....100V, 50/60Hz
- 定格消費電力.....20W
- 寸法 (W×H×D).....841×86×294mm
- 重量.....9kg
- 仕上げ.....ABS樹脂, 木目ホットスタンプ
- 付属品.....エクスプレッションペダル
サスティンペダル, 譜面立て
- 別売品.....専用キャリングケース
スタンド（キャリングバック付）

外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

サービスについて

●保証

C E 20 の保証期間は、保証書によりご購入から1カ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されている事を必ずご確認ください。無記入の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合は、お求めになられた販売店あるいは、日本楽器支店の電音サービス係までご持参頂きますと技術者が修理、調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。お求めの販売店から遠方に移転される場合は、事前に弊社支店までご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

●保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、下記ヤマハサービス網までお問い合わせください。

●サービス網

- 東京支店 電音サービス係 ☎ (03) 572-3341 東京都中央区銀座7-11-3矢島ビル4F
- 横浜支店 電音サービス係 ☎ (045)212-4852 横浜市中区本町6-61-1
- 千葉支店 電音サービス係 ☎ (0472)47-6611 千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内
- 関東支店 電音サービス係 ☎ (0273)27-3322 群馬県高崎市歌川町8番地/高崎センター内
- 大阪支店 電音サービス係 ☎ (06) 877-5262 大阪府吹田市新芦屋下1-16
- 神戸支店 電音サービス係 ☎ (078)232-1111 神戸市中央区浜辺通6-1-36
- 四国支店 電音サービス係 ☎ (0878)33-2233 高松市西宝町2丁目6-44
- 名古屋支店 電音サービス係 ☎ (052)231-2432 名古屋市中区錦1-18-28
- 北陸支店 電音サービス係 ☎ (0762)43-5341 石川県金沢市泉本町7-7
- 九州支店 電音サービス係 ☎ (092)472-2151 福岡市博多区博多駅前2-11-4
- 北海道支店 電音サービス係 ☎ (011)512-6114 札幌市中央区南10条西1丁目4/ヤマハセンター内
- 仙台支店 電音サービス係 ☎ (0222)95-6111 仙台市原町南目薬師堂北2-1
- 広島支店 電音サービス係 ☎ (08287)4-3787 広島市安佐南区祇園町西原2205-3
- 浜松支店 電音サービス係 ☎ (0534)56-9211 浜松市東伊場2-14 1/

ヤマハエレクトーン・ステレオサービスセンター

日本楽器製造株式会社

- | | | | |
|---------|--|-------|---|
| 本社・工場 | 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL. (0534)65-1111 | 神戸店 | 〒650 神戸市中央区元町通2-7-3
TEL. (078)321-1191 |
| 東京支店 | 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
TEL. (03) 572-3111 | 四国支店 | 〒760 高松市西宝町2丁目6-44
TEL. (0878)33-2233 |
| 銀座店 | 〒104 東京都中央区銀座7-9 14
TEL. (03) 572-3131 | 四国店 | 〒760 高松市丸亀町8-7
TEL. (0878)51-7777 |
| 渋谷店 | 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大宗ビル内
TEL. (03) 476-5441 | 名古屋支店 | 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. (052)201-5141 |
| 池袋店 | 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL. (03) 981-5271 | 北陸支店 | 〒921 金沢市泉本町7-7
TEL. (0762)43-6111 |
| 池袋東ショップ | 〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1/
ブランズウィックスポーツガーデン内
TEL. (03) 983-9914 | 九州支店 | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. (092)472-2151 |
| ヤマハ寺様寺 | 〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1/いなりやビル内
TEL. (0422)21-7182 | 福岡店 | 〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL. (092)721-7621 |
| 横浜支店 | 〒231 横浜市中区本町6-61-1
TEL. (045)212-3111 | 小倉店 | 〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1
TEL. (093)531-4331 |
| 横浜店 | 〒220 横浜西区南幸2-15-13
TEL. (045)311-1201 | 北海道支店 | 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目ヤマハセンター
TEL. (011)512-6111 |
| 千葉支店 | 〒280 千葉市千葉港2-1/千葉コミュニティセンター内
TEL. (0472)47-6611 | 仙台支店 | 〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1
TEL. (0222)95-6111 |
| 関東支店 | 〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内
TEL. (0273)27-3366 | 仙台店 | 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL. (0222)27-8511 |
| 大阪支店 | 〒542 大阪市南区末吉橋通4丁目8番地/
心斎橋プラザビル東館(八、九階)
TEL. (06) 252-1111(代) | 広島支店 | 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル内
TEL. (0822)21-4122 |
| 心斎橋店 | 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL. (06) 211-8331 | 広島店 | 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL. (0822)48-4511 |
| 梅田店 | 〒530 大阪市北区梅田1-3-1/大阪駅前第1ビル内
TEL. (06) 345-4731 | 浜松支店 | 〒430 浜松市田町32/東京海上ビル内
TEL. (0534)54-4116 |
| 神戸支店 | 〒651 神戸市中央区浜辺通り6丁目1の36
TEL. (078)232-1111 | 浜松店 | 〒430 浜松市鍛冶町122
TEL. (0534)54-4111 |

